

タカツルラン

11月下旬に、タカツルラン研究者である東北大学辻田さん(5月に島で講演をしてもらいました)と、屋久島で自然保護活動をされている手塚賢至さんたちのグループ、総勢4名が、調査のために来島されました。調査の主な目的は、生育状態の調査と播種テストでした。播種テストは、いろいろな場所に、深さを違えて種を撒き、後日、発芽の様子を調べます。種は、10月にえらぶ年寄り組が採取したもので、発芽の調査は、来年にかけて、えらぶ年寄り組が担当します。

タカツルラン **見学会** (11月24日) を開催しました。

急だったのですが、調査の当日、島民の皆さんに呼びかけて、調査グループに同行しながらの「タカツルラン見学会」を開きました。急なお誘いでしたが、大人3名、子供2名の参加がありました。花の季節ではないのが残念でしたが、木の幹に這うツルや種を見ながら、辻田さんの説明を聞くことができました。また、見学の皆さんも、播種テストに参加しました。

この調査は「屋久島と口永良部島における照葉樹林内の菌共生に関する保全と研究」で、「屋久島まるごと保全協会」が屋久島環境文化財団から研究費を受けています。えらぶ年寄り組は、この調査・研究に、口永良部島担当団体として参加しています。

お詫び

10月・11月合併号で、タカツルランを天然記念物と記しましたが、誤りでした。

天然記念物ではありません。 誤りでした。申し訳ありません。

東京環境工科専門学校のこと

10月に、学生さんと共に調査・実習のために来島された東京環境工科専門学校の幸丸校長先生から、次ページのような報告書が届きました。島の人達にお礼を込めての報告とのこと。今後も、継続的に来島し調査・実習を続けたいと希望されており、そのための宿舎を探しておられます。

先生・学生さんに貸していただける賃貸**物件**はありませんか？

物件情報があれば、えらぶ年寄り組まで、ご連絡ください。